

【俳句で季節を感じよう⑬】

四季いい色では平成 29 年 6 月 1 日発行号から【季語】【時節の言葉】【季節の食べ物】などが入っている「俳句」を紹介しております。日本には情緒あふれる素晴らしい俳句が多数存在します。俳句を通じ読者の皆様に季節を感じて頂けると幸いです。毎月、どんな俳句が登場するか…。どうぞお楽しみに！

※俳句とは5・7・5の3句 17 音からなる定型詩で季題によって自然の風物・人事を詠んでいます。

◆今月は【冬】の俳句を紹介します◆

俳句	季語	作者	意味・情景
いざ子ども 走りありかん 玉霰	玉霰	松尾芭蕉 (男性) 1644~1694	【さあ、子どもたちよ、外に出て一緒に走り歩こうよ。勢いよく霰が降ってきているぞ】 霰が降ったのを見て弾むような楽しい気持ちを表しているようです。
遠山に 日のあたりたる 枯野かな	枯野	高浜虚子 (男性) 1874~1959	【辺りは日が陰って、寒寒とした枯野であるが遠い山にだけ冬日が当たって明るい】 寒そうな野原の情景の中わずかに見つけた夕日のぬくもりを表しているようです。
朝晴れに ばちばち炭の 機嫌かな	炭	小林一茶 (男性) 1763~1828	【気持ち良く晴れ上がった冬空の朝。火鉢に炭をおこそうとすると炭火がばちばちはねて上機嫌】 おこした炭火が赤く熱くなり炭が喜んでいるように見えた気持ちを表しているようです。

12月17日は『飛行機の日』です。

1903年(明治36年)アメリカ・ノースカロライナ州のキティホークの海岸において、兄・ウィルバーと弟・オーヴィルのライト兄弟が「フライヤー1号機」で動力飛行機の初飛行に成功した。

ということで【飛】にまつわることわざ

『清水の舞台から飛び降りる』

【読み】きよみずのびたいからとびおりる

【意味】思い切って大きな決断をすることのたとえ。

「清水」とは、京都市にある音羽山清水寺のことで、北法相宗の総本山です。清水寺には高い崖に張り出して作られた舞台があります。清水の観音様に一心に祈ってその崖から飛び降りると命も助かり願いも叶うという迷信による願掛け。その舞台から飛び降りるほど必死の覚悟で実行するという意味。※「清水」を「しみず」と読むのは誤りです。

【英語】shoot Niagara. (ナイアガラの滝を下る)

【用例】『私は以前からどうしても欲しい車があった。毎月コツコツと貯金をして数年かけてようやく目標金額に達成したよ。自分にとって大きな買い物だったので契約の印鑑を押す時は清水の舞台から飛び降りる気持ちだったよ。』

★お知らせ★

いつも当販売所だよりに広告を掲載頂き誠にありがとうございます。次号(しわすだよ)は12月20日頃の発行を予定しています。

北海道新聞のキャラクター
ふんちゃん



広告や記事などの申込みの受付は誠に勝手ながら12月10日迄とさせていただきます。お申込・お問合せは
リ-ダ イル0120-15-0353へ

バイバイ大間原発ウォーク
12月行動のお知らせ

日時	12月16日(日) 13:30
場所	まちづくりセンター(十字街電停そば)
趣旨	クリスマスツリーをいつまでも!
内容	13:30 集会(札幌高裁控訴審報告) 14:20 ウォーク開始
電話	080-5590-4117(高橋泰助)
主催	バイバイ大間原発ウォーク実行委員会

冷水と温水が24時間いつでもお手軽に使えます。今なら無料でお試しいただけます。★お試し期間は1週間です(無料)(クリクラサーバー1本12月12日迄)※お申し込み後はお電話で回収します。※お試し期間終了後は無料で回収します。神山2丁目8-3 クリクラ工房 函館
TEL 0120-329985(通話料無料)

「相続登記・生前贈与登記はお済みですか!」
相続・贈与・売買等の登記に関する書類作成・登記手続、外出が困難な方・遠方でお受けしてありますので、まずはお気軽にお電話下さい。(相談は無料です。)
司法書士 阿部公(いへ) 電話 0138-555-2648
事務所 山の手1丁目16-5

★クギ打ち一本からお伺い致します!★
大工工事 他、どんな小さな工事でもお気軽にご相談下さい
一般建築業 達 工務店
神山3丁目41-16 TEL 55-5685
※営業時間 8時~17時

洋服のお直しします コッタ
神山3丁目25-5 TEL 54-9328

九十九(くじゅう)ストロップ整備
陣川町86-125 55-3561

ストロップ・ボイラーの修理・分解整備は日曜・祝日も営業している当店へ!
ボイラー・ストロップ・販売取付工事!
トイレ・洗面化粧台・お風呂!
リフォーム工事 承ります!

パッキン交換・トイレのつまり
水廻りの修理全般
親切、ていねい、安価に作業致します
ウオッシュレット取付・ボイラー交換等も承ります。下見調査 相談無料。
ワタナベ設備サービス
美原4の30の12 TEL 47-0703
携帯 090-8276-4639
函館市企業局指定
(給水装置・排水設備) 工業者

★出張 理美容室★
ハート
外出が困難な方・身体の不自由な方へ
無料出張サービス
①カット(顔そり)ブロー込 3240円
②パーマ6480円 ③毛染め6480円
昭和2-24-18 TEL 83-2575

しょうがつことはじ
12月13日は【正月事始め】です

【正月事始め】ってなに?

新しく迎える正月に新しい年神様を迎えるための諸準備を始める最初の日とされた日です。この日より大晦日までの31日までに正月の準備を順次進めていきます。



【正月事始め】ってなにをするの?

すすはら 煤払い	家の中や外の煤やホコリを払い清めることをいいます。現代の年末の大掃除のような清掃という意味合いだけではなく、年神様を迎えるための神聖な行事という位置づけです。「煤掃き」ともいいます。
まつちか 松迎え	門松を作ったりお雑煮を煮るために必要な木や燃料の薪を恵方の山へ採りに行くことをいいます。正月事始めの元々の原型とされる行事です。「門松迎え」ともいいます。
としぎ 年木	家の門前や門松のそばに置く年神様に供えるための木のことをいいます。「若木」「幸い木」ともいいます。
としぎ 歳木	また新年に使うため年末の内に切り出しておく薪の事もこう呼びます。

【正月事始め】の始まりっていつ?

江戸時代、幕府で江戸城の大掃除をこの日に始めるようになったのが【正月事始め】の始まりといわれています。

江戸時代中期まで使われていた宣明暦という暦では、12月13日は「鬼宿日」として婚礼以外のことなら全ての運勢が良い「大吉」の日だとされていました。そのため正月を迎える準備を始める日に適しているということでこの日が選ばれたといわれています。

新年を迎える準備ということ、掃除や正月料理の仕込みなど家事全般に関わるため女性が中心になって行うものと思われがちです。昔は正月事始めを仕切るはその家庭の家長とされていたそうです。現代では生まれた年と同じ十二支の年を迎えた男女を「年男・年女」と呼びますが、昔は正月事始めを仕切る家長のことを「年男」と呼んでいたそうです。

次号では年末の大掃除にぜひ活用して頂きたい

【古新聞を活用した掃除】を紹介します。どうぞお楽しみに!

函館市女性センターより講座参加者募集
★受講生募集★

講座名	定員	開講日	申込
冬休み・親子でチャレンジ 手作り「和風」教室	20組 (抽選)	1/8 10~12時	12/3 10時~
パン作りの楽しさを体験 大人のパン教室	24名 (抽選)	1/16 18~20時	12/4 10時~
世界で人気の料理107編 「カチャトーラ」を作ろう	24名 (抽選)	1/22 10時半~12時半	12/7 10時~

女性のための相談室(常時受付)

内容	受付
DV・虐待・離婚相談 働く女性の悩み相談	火・木曜日 10時00分~15時00分 水・金曜日 18時30分~20時30分
家庭生活相談	月・金曜日 10時00分~15時00分 火・木曜日 18時30分~20時30分

★寄付品募集★◆受付期間は12月24日までとなります◆

函館市と姉妹都市であるカナダのハリファックス市から毎年「はこだてクリスマスファンタジー」のために「幸せを呼ぶもみの木」が贈られてきます。メインツリー用の巨大なもみの木と共に小ぶりのサブツリーが女性センターに届きました。みんなの幸せにつながるようセンターでは「サンタ・リボン企画」を実施します。下に挙げる寄付品をお持ちいただいた方に「サンタ・リボン」を渡してツリーに結んでもらい集まった善意の品を市内の児童養護施設や福祉団体などにクリスマスプレゼントとして届けるという内容です。皆様からのたくさんの善意をお待ちしております。

◎募集する品物◎(未使用・賞味期限内)

・文房具(ノート・鉛筆・画材等)・日用品(石鹸・洗剤類・タオル・ティッシュペーパー等)
・保存のきく食品(米・油・みそ・しょうゆなどの調味料・乾麺等)

※品物の持ち込み先は下記住所となります。

◇お申込みやお問い合わせは◇

東川町11-12 函館市女性センター TEL 23-4188

12月2日は安全カミソリの日です

1901年のこの日、アメリカのGillette(ジレット)という人が安全カミソリの特許を取ったことに由来しています。

カミソリの歴史はおよそ1万年前の新石器時代(石を加工し道具を作っていた時代。人類が文化を営み始めた最初期の時代)まで遡ります。黒曜石(火山岩の一種)と呼ばれる石を研いだ物をカミソリとして使っていたのが始まりだといわれています。エジプトの第18王朝時代(紀元前1570~1293年頃)に今のカミソリの原型と言われるものが出来たそうです。日本では538年、仏教伝来とともに中国や朝鮮を経て伝わりました。当時は、僧や尼の髪の毛を剃るのに用いられていたそうです。平安末期には月代と呼ばれる男性の髪型(今でいう丁髷のような)の人が増え、最初は木製の毛抜きで一本一本抜いていたようです。戦国時代になり月代を剃る為に初めてカミソリを使用した人は、織田信長だったといわれています。※安全カミソリは絶対に安全というわけではなく、在来の直刃のカミソリに比較して「安全」であるということで「安全カミソリ」(safety razor)と呼ばれるそうです。

